

オープンダイアローグと 自助グループ

2つの対話実践から
みえてくるもの

講師

渡邊洋次郎さん
(介護福祉士、リカバリハウスいちご)

企画
要旨

オープンダイアローグ(OD)は、フィンランドで開発された、対話を中心とした家族セッションを提供する治療法です。主に統合失調症に用いられ、薬物療法なしで精神症状を改善する効果があること等で注目されています。ODでは、「開かれた対話」の場が提供されることで、幻覚・妄想＝モノローグ(一人語り)の世界から、応答が行われる対話(ダイアローグ)の世界に移ることができることで回復につながると考えられています。ODは、統合失調症のみでなく依存症を含む様々な問題に効果があるとされる一方、依存症の支援の分野では、「自助グループ」が用いられ、当事者同士の対話で、否定されず自分の気持ちを表現しできる経験が回復を促すことが示されてきました。

本企画では、渡邊洋次郎さんと当研究室スタッフで、これら2つの対話についてロールプレイを行ったうえで、共通する対話の持つ回復効果について検討し、それをもとに当事者一家族一専門家における良い対話を進める上でのポイントについて「対話」を行います。



講師プロフィール：

介護福祉士・リカバリハウスいちご所属。1975年大阪府生まれ。10代から鑑別所入所・少年院入院を繰り返す。20歳からアルコール依存症等で、精神科病院へ48回入院。30歳からの刑務所服役後、自助グループへつながり、回復の道を歩み始める。現在、依存症回復支援施設で職員として働きながら、啓発活動や海外の自助グループとの交流を行っている。

著書：

「下手くそやけどなんとか生きてるねん。薬物・アルコール依存症からのリカバリー」, 現代書館, 2019

日時

2022年2月8日 火 **オンラインセミナー**
17:00～19:30
:Zoomによる配信
(100名まで・オンデマンド配信はありません)

申込

参加費は無料です。どなたでもご参加ください。2月1日正午までに参加希望を以下リンク先のGoogleフォーム(QRコードからもたどれます)から、ご氏名、ご所属、e-mailアドレスを入力して送信ください。開催日前にe-mailアドレスまでZoomリンクをお知らせします。(定員を超えて多くの方にお申し込みいただいた場合、ご遠慮いただく可能性があります)

Googleフォームへのリンク：<https://forms.gle/Ri5aXAQX2AwqZ9fy9>



QRコード